『アパシー　学校であった怖い話　新生』の裏話　その一

飯島多紀哉

https://www.pixiv.net/novel/show.php?id=9976405

学校であった怖い話, 小学怖, オリジナル, エッセイ・ノンフィクション

『アパシー　学校であった怖い話　新生』発売記念!!
ネタバレを含んでいるので、読みたくない人はスルーしてね。

Table of Contents

『アパシー　学校であった怖い話　新生』の裏話　その一

いよいよ、7年ぶりに制作した『アパシー　学校であった怖い話　新生』が発売になった。

ということで、恒例の裏話を描いていこうと思うんだが、
まだコミケでしか販売できていないので遊べていない方が多数いると思う。
だから、ブログではなくこちらで書かせていただく。
まだ読みたくない人は素通りできると言うわけだ。

ちなみに裏話は小説ではなくエッセイというカテゴリーになると思うんだけれど、
エッセイというカテゴリーが見つからなかったので、こっちに書くよ。

以下、多くのネタバレを含んでいるので読みたくない人は読まないほうが良い。

まず、今回の『アパシー　学校であった怖い話　新生』だが、
発表当初は色々と弄られたものである。

荒井が牧場でアルバイトをするだと？
日野がガチホモだと？
風間が首輪をつけているだと？
語り部が早苗ちゃんだと？
等々。

・・・やっぱり、ネタばっかだよ。
もう、1995のメンバーで怖い話は出来ないんだな。
飯島は怖い話を書けなくなったんじゃないの？
ネタばかりに走って、もう期待できないね。

そういう類の声をちらほらと見かけたし、
そう言われて当たり前だと思っていた。
だって、そう思わせる情報をあえて大量投入したのだから。

で、発売直前になってやっと怖い絵をばらまいて、みんなに
「あれ？　もしかしたら怖い話もあるの？」
と思ってもらえたら嬉しかった。

で、結論から言うと今回収録した話は全てガチである。
一見おちゃらけた体を取っているものの、
すべてが何かしら薄気味悪い本質を内包した造りになっている。

そして、腐女子のファンに媚びるようなことは一切していない。
誤解しないでほしいのだが、僕は腐女子の方々を好意的に受け止めているし、
彼女たちが支持してくれるおかげで『アパシー』シリーズは
人気を維持していられる一因もあると思っている。
ただし、彼女たちに満足してもらうためには、
期待をいい意味で裏切ることが大事だと思っているし、
彼女たちの声を聞いてもその通りにしないようにあえて務めている。

結局のところ、いろいろな考え方を持つ男性にも女性にも
受け入れてもらえるような作品作りを心掛けている。

昔から何度も言っているが、僕は幼稚園から高校を卒業するまで男子校に身を置いていた。
その経験が綾小路と大川というキャラの関係を生んだし、
『男子校であった怖い話』は当時の経験の集大成だ。
あれらで語られている男同士の関係はほとんど実話だ。
だから、別にBLを意識しているわけでもないので、
普通に男性が触れても面白い世界になっているはずだ。

『アパシー　学校であった怖い話　新生』は
怖い話を書くという点を十二分に意識してシナリオを書いた。
そのため怖い話が苦手な人は遊ぶことは難しいと思うし、
昔から『アパシー』シリーズのファンにも新鮮な驚きが随所にちりばめられていると思う。

そして遊んだ人ならわかると思うが、
今回の１９９５メンバーの語る語りは、
『学校であった怖い話』の六人が集まって怖い話を語るというシステムから
大きく外れているということである。
せっかく一人一人が個別に語るということと、
あの新聞部に集まるというスタイルを外れることで描けるストーリーを産み出してみた。

あの新聞部に集まって一人ずつ怖い話を聞いていくシステムで
なければならないという方には好まれないかもしれないが、
様々なスタイルがあってこそ面白いと僕は思っているし、
色々と挑戦してみたい。

今回のようなスタイルも気に入ってもらえれば、
新生のような短編集という形も時々制作していければと思っている。
その時には、『男子校であった怖い話』や『アパシー　都市伝説探

偵局』のメンバー、
そしてあっと驚くメンバーの登場も考えていたりする。

とにかく、一人でも多くの人に遊んでもらって支持を得て、
そして次回作を制作する資金を集めなければならない。

今後も多くの人に可愛がっていただければ
スタッフのみんなも泣いて喜ぶ。
どうか、末永くよろしくお願いします。